

令和2年度京築地区中学校卓球大会要項

- 1 大会名 第58回京築地区中学校卓球大会
- 2 主催 京築地区中学校体育連盟 京築地区各市町（学校組合）教育委員会
共催 福岡県教育委員会
- 3 期日 令和2年8月8日（土）・9日（日）
男子の部 8月8日（土）
会場準備 8時00分（苧田中学校男子 泉中学校男子）
開館入場 8時40分
午前の部 監督会議 9時00分
監督会議後 開始式、団体戦試合開始 団体戦終了式と順次進行する
個人戦のみ出場者集合受付 10時30分
団体戦終了後、個人戦開始式、個人戦試合開始、個人戦終了式と順次進行する
午後の部は開館入場13時30分とし、午前の部に準じて進行する
（午前の部の進行が遅れた場合は、体育館外で待機）
女子の部 8月9日（日）
時程は8月8日と同じ
ただし、午後の部は入場13時00分
会場準備・片付け（新津中学校女子 他）
- 4 会場 苧田町総合体育館
- 5 参加制限 団体戦 男女とも各学校1チーム（ベンチ登録選手10名まで）
5人5単のダブルスなし
3人・4人はオープン参加の出場可 全員が相当に練習し審判が可能であること
個人戦 男女とも3年生のみ
ベンチ入りできる監督コーチは団体戦は2名まで、個人戦アドバイザーは1名とする
- 6 入場制限 3年生選手（個人戦含む）、団体戦登録の1・2年生、当該学校教職員、大会役員、中体連の規定する部活動指導員、福岡県中体連より承認を受けている外部指導者 保護者の参加人数については3年生の人数（各家庭1名）とし、各学校で準備した「〇〇中保護者」と記載した名札を身に付けたものに限ること ただし3年生の保護者が少数など、緊急時の対応等に不安がある場合は学校長の判断で必要最低限の1,2年生保護者の入場を認める 選手、引率者、部活動指導員、外部コーチ、保護者、大会役員については京築中体連共通の健康観察カードを各学校で作成し、コピーを1部提出すること（原本は各中学校で保管）
- 7 競技方法
(1) 団体戦
 - ① 組み合わせ 3~4チームのリーグ戦とし、決勝トーナメントは行わない
組み合わせは新人戦の結果を参考にし、各都市の専門部長の協議の上決定する。
 - ② 競技方法 5人5単の3点先取。
3台進行以上を基本とし、出来得る限り多くの台で進行する。（可能ならば5台進行）
（感染対策としてダブルスなしの5人5単とするのは、6月29日現在、日本卓球協会はダブルスの練習をしないことを奨励しているため）
 - ③ 団体戦のオーダーはその都度提出する 事前の本部提出は行わず、結果のみ報告する
- (2) 個人戦 トーナメント 3ゲームマッチ 3年生のみの参加 敗者審判
熱中症が心配される場合や、進行が大きく遅れた場合は途中打ち切りも有り得る

8 競技規則

- (1) 現行の日本卓球協会のルール及び細則を準用する ならびに福岡県中学校体育連盟の申し合わせ事項に準ずる
- (2) 使用球 プラスチック球 (ニッタク 40mm 白)
- (3) 大会参加に際して引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチは当該学校の教育職員とする。教育職員以外のコーチには校長が認め、県中体連に登録をし承認を受けたものとする
- (4) 審判 相互審判を基本とする。(対戦チームから1名ずつ出る)
- (5) ユニフォームの上衣の背部にゼッケンをつけること
名字が上、学校名を下に記入する 長方形(目安として縦18cm 横25cm)の白地の布 日本卓球協会のゼッケンでも可。学校名が入っていること(他チーム名の上に学校名を貼り付けたものは不可)
- (6) チェンジエンドは従来通り行うものとする ただしタオルなどは卓球台にかけたりしない 自分の荷物を持って移動し、そこにタオルなどを置くものとする
- (7) 窓は換気のため常時開ける カーテンは開けたままの状態にする
(苧田総合体育館の新型コロナウイルス対策方針による 空調は効きません)

9 表彰 地区大会優勝などの表彰は行わない

12 組み合わせ

- (1) 団体戦 各郡市の専門部長の協議の上、7月28日の卓球専門委員会において決定する。
男女とも新人戦の結果を考慮し、極力、同程度の習熟度別の3～4チームのリーグ戦を行う
決勝トーナメントなどは行わない パートにより、男子は8月8日(土)の午前または午後に試合を行う。女子は8月9日(日)の午前または午後に試合を行う
参加予定校 男子11チーム 人数不足によるオープン参加を含む
八屋 千束 合岩 吉富 築城 椎田 行橋 泉 長峽 苧田 勝山
女子13チーム 人数不足によるオープン参加を含む
八屋 千束 合岩 吉富 築城 椎田 上毛 行橋 泉 長峽 新津 豊津 勝山
- (2) 個人戦 3年生のみ トーナメント 3ゲームマッチ
組み合わせは、今までの成績を考慮し、各郡市の専門部長協議のもとで作成する
参加予定人数 男子78名 女子73名 ただし、午前の部、午後の部などのパート別に行う
その際、パートにより人数のばらつきが生じる 全体の決勝などは行わない

13 感染対策

令和2年度京築地区中学校卓球大会感染防止ガイドラインに則り対策を講じる

14 その他

- (1) AEDは体育館管理事務室内に設置。
- (2) Jアラート警報時は試合を一時中断し、屋内にて安全を確保する。警報が解除され次第、試合を再開する。
- (3) 8月8日(男子)、9日(女子)が両日とも大会が開催できないときは順延はしない
どちらか1日のみ開催の場合のみ10日に順延 ただし再順延はしない

令和2年度京築地区中学校(卓球)大会感染防止ガイドライン

- 受付
 - 体育館入口、窓口には、手指消毒剤を設置する
 - 大会役員、スタッフ、マスクを着用
- 各校責任者は、参加者から以下の事項を記載した健康観察カードの提出を求め、大会終了後1ヶ月間保管すること 受付時に本部にコピーを1部提出すること(別紙京築中体連共通様式)
 - 氏名、年齢※個人情報の取扱いに十分注意する
 - 利用当日の体温
 - 利用前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱(おおむね37度5分以上)
 - 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 大会当日、以下の事項に該当する場合は参加を見合わせたり、速やかに帰宅させたりすること
 - 体調がよくない場合(発熱・せき・咽頭痛などの症状がある場合)
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- マスク等の準備
 - 参加者、観覧保護者がマスクを着用しているか確認すること
 - 運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めること(運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする)
- 大会参加前後の留意事項
 - 開始式前の監督会議は、三つの密を避けるため、ステージ横廊下で行う。
 - 選手のプレー中以外はマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮する
ただし、熱中症対策として、緊急的にマスクを着用しないよう連絡することもある
- 競技中の留意事項
 - 8月8日男子、8月9日を女子とする それぞれ午前の部、午後の部を設け完全入れ替えとし、一度に体育館を利用する選手が40人~70人程度となるように組み合わせ調節する
 - 試合前後の握手、団大戦後の相手ベンチへの挨拶は行わない
 - 卓球台へ手をついたり、シューズの裏を触ったりすることのないよう気をつける
 - タオル、水筒など共用しない
 - 試合球、卓球台の消毒はニッタクラバークリーナー(界面活性剤入り・メーカー検証済み)で行う
 - 水分補給を細かく行い、熱中症を避けるよう指導する
 - 競技中の選手以外はマスクを着用し、応援は拍手のみとする
- 手洗い場所
 - 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗いに手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を必要に応じて用意すること(参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること)
 - 別にアルコール等の手指消毒剤を用意する
- 更衣室、休憩・待機スペース
 - 更衣室は設置しない。
 - 利用選手が70人を超えたとしても、廊下を待機スペースとし、フロアにいる選手が60人以上、引率者が12人以上となるよう配慮する
 - 複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等)については、こまめに消毒すること
 - 剣道場を、予備機場所として、状況によって使用する
- 飲食
 - 食事については、選手は体育館では行わない(午前午後で選手完全入れ替え制のため)一部役員のみ、他の選手や役員との接触を避け、昼食を行う
 - 水分補給はこまめに行うようにアナウンスを行う
- 洗面所
 - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒する
 - トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する
 - 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)の用意を依頼する

- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を用意する
(参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにする)
- 飲食物の提供時**
 - 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける
 - 飲料については、各自責任をもって持参する
 - 今年度は大会運営事務局は各校顧問の昼食を準備しない
- 保護者の管理(適時アナウンスや掲示物でお知らせをすること)**
 - 保護者の参加人数については3年生の人数(各家庭1名)とし、各学校で準備した「〇〇中保護者」と記載した名札を身に付けたものに限ること ただし3年生の保護者が少数など、緊急時の対応等に不安がある場合は学校長の判断で必要最低限の1、2年生保護者の入場を認める 選手、引率者、部活動指導員、外部コーチ、保護者、大会役員については京築中体連共通の健康観察カードを各学校で作成し、コピーを1部提出すること(原本は各中学校で保管)
 - 大会関係者や保護者同士が密な状態とならないようにする
 - 大声で会話をしたり、声援を送ったりしないこと 応援は拍手のみとする
 - 会場内ではマスクを着用することなどの留意事項を周知する
 - 観客席は密にならないように、使用禁止シートを設ける
- 大会会場(フロア)**
 - 大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
 - 日本卓球協会の指針に準じて卓球台の間隔を4メートル程度あける。フロアに設置する卓球台は12台とする
 - 換気設備を適切に運転するよう依頼する
 - フロアにアルコールポンプを4台以上常設し、各選手、引率者が機会を見て消毒できるようにする
 - 常時窓を開け外気を取り入れる等の換気を行う 暗幕カーテンは常時開ける 大型扇風機を用意する(体育館より6台貸借予定 他に2台準備予定)
 - トイレ、試合球および選手ベンチとなる椅子、選手待機場所の消毒場所を各都市の専門部が分担して消毒する。
- ゴミの廃棄**
 - 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
 - マスクや手袋を脱いだ後は、や食事前はアルコールで、手指消毒するよう指導する